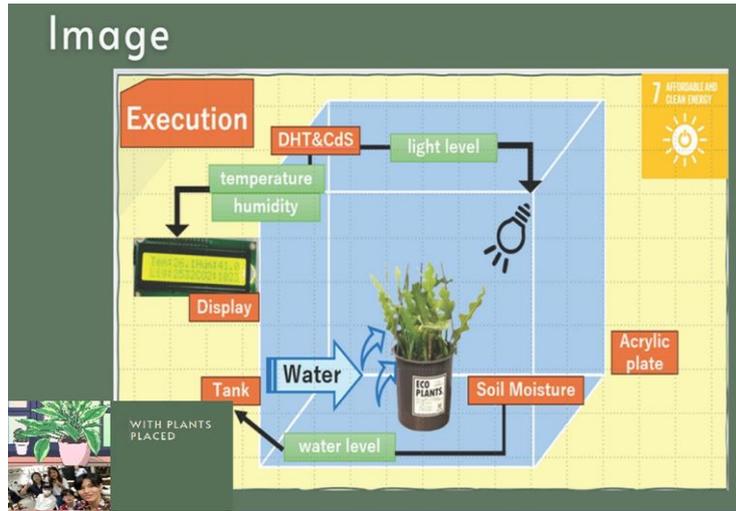


電子工学国際インターンシップ2: 電子技術を用いてSDGsに関連したシステム実現のための双方向gPBLプログラム

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年09月16日 ~2024年09月24日	タイ	キングモンクット工科大学 トンブリ校	電子工学科、 電気工学科 学部3年生、 学部4年生	(芝浦工業大学) 学生11名、 学生バイト1名、 教員2名 (キングモンクット工科大学 トンブリ校) 学生10名、 教員4名	小池 謙和 (電気電子工学課程先端電子 工学コース) 横井 秀樹 (電気電子工学課程先端電子 工学コース)、 加納 慎一郎 (電気電子工学課程先端電子 工学コース)



プロジェクトで開発するシステム

キングモンクット王立工科大学 (KMUTT)、Electronics and Telecommunications Engineering (ENE) 学科とのgPBL派遣プログラムを実施した。このプログラムは双方向で実施しており、9月に本学電子工学科の学生がタイ・バンコクに11日間のスケジュールで派遣プログラムを実施し、10月終わりから11月初旬にKMUTT・ENE学科学生が来日し、11日間のスケジュールで同じメンバー、同じチーム分けで受入プログラムを行う内容となっている。さらに派遣プログラム実施前にSITの学生が自己紹介とプロジェクトプランの計画書を作成し、ENE学科の参加学生に送付し、派遣プログラム実施前にチーム分けを行う。その後、予めプログラムの打ち合わせをLINEなどのSNSツールを使用して行うように指示している。また、派遣のプログラムから受入のプログラムの間にもシステム開発をお互い連絡を取りながら進めてもらい、受入でより完成度の高いシステムの実現を目指す31日以上ワークショップを行う内容となっている。

2回のオンライン実施があったが、本年度は記念すべき10回目の実施となった。プログラム参加者はSITとKMUTT合計で4名または5名の5チームに分かれて、ワークショップに取り組んでもらった。今年度は昨年度に引き続き、SDGsに関わる内容として清潔な空気環境の維持に関わるシステムをマイクロコンピュータ、センサ、FANなどのアクチュエータ、ネットワークを組み合わせて実現する目標を立ててもらった。派遣プログラムでのプロジェクトテーマ設定、計画、進捗については、2回のプレゼンテーションで各チームが報告した。SITからの引率教員2名とKMUTTからの担当教員5名より評価が行われ、上位3チームは表彰している。

今回の参加学生は、これまで以上にKMUTTの学生と話し合いながらワークショップに取り組んでいた。最終発表では、質問に対して、本学学生が中心となって回答することがこれまで以上に多くなったと感じている。今回の開催についても、KMUTT・ENE学科の教員、学生の心からの支援に感謝する。今年度も10月終わりから受入プログラムを開始するが、プロジェクトの内容がさらに発展し、学生同士の交流がさらに深まることを期待している。



ワークショップの様子1



ワークショップの様子2



タイでの最終発表



表彰式